

「第2期島根県スポーツ推進計画（案）」に関するご意見及び県の考え方

項目/No	ご意見の概要	ご意見に対する県の考え方
全体		
1	県民誰でもわかりやすいよう言葉の注釈を入れてほしい。特に、「総合型地域スポーツクラブ」に関しては、未だ地域における認知度が低い状態であるため必要と考える。	ご意見を踏まえ、「総合型地域スポーツクラブ」及びこれに関連する「しまね広域スポーツセンター」の注釈を追加します。
2	県・市町村・学校・関係団体に期待する役割を明確にした方が、この計画が目指すことへのアクションが起こしやすいのではないかと。	この計画は、県全体の取り組む方向性を示したものです。計画を進めるにあたっては、市町村・学校・関係団体の果たす役割は複合的に絡み合い、また、地域の状況によっても異なります。今後、施策展開にあたっては、市町村・学校・関係団体等に周知し、それぞれの取組計画において整合が図られるよう促し、連携を取りながら進めていきます。
1 誰もがスポーツに親しむことができる、ライフステージに応じた生涯スポーツの推進		
(4) 地域スポーツ活動の中心を担う壮年期のスポーツ推進		
3	ロコモティブシンドロームは、壮年期の課題とするだけでいいのか。現在、ロコモティブシンドロームは子どもからの課題となっている。県が計画の対象を重点的に壮年期とされるのであれば結構である。	ロコモティブシンドロームは、壮年期だけでなく、子どもの課題としても取り上げられますが、子ども達は体育の授業や部活動など学校生活において運動の機会が日常的にあることから、主に壮年期の課題として捉え、取り組むこととしています。
4	【今後の具体的施策の展開】に「しまね広域スポーツセンターと連携してクラブマネジメント研修を行い、地域人材の掘り起こしや活用を促進」とあるが、事業と目的が違うのではないかと。	記述の趣旨は、クラブマネジメント研修により総合型地域スポーツクラブのマネージャーを育成し、地域でのネットワークづくりを促し、地域人材の掘り起こしや活用を促進することです。この趣旨が伝わるよう記述を追加します。
4 地域ではぐくむ、島根のスポーツ文化の推進		
(4) 地域の特性を生かしたスポーツ推進		
5	【今後の具体的施策の展開】において、総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の記載があるが、それ以前の課題として、【これまでの取組の成果・課題】で総合型クラブの育成または支援状況における課題の記載が必要ではないかと。	総合型地域スポーツクラブの課題は、「4 地域ではぐくむ、島根のスポーツ文化の推進」－「(1) 関係団体との連携・協力とスポーツ指導者の養成・資質向上」に記載しております。総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度は、この課題に対する施策ですので、「(1) 関係団体との連携・協力とスポーツ指導者の養成・資質向上」の【今後の具体的施策の展開】に記載を移します。